

ご 注 意

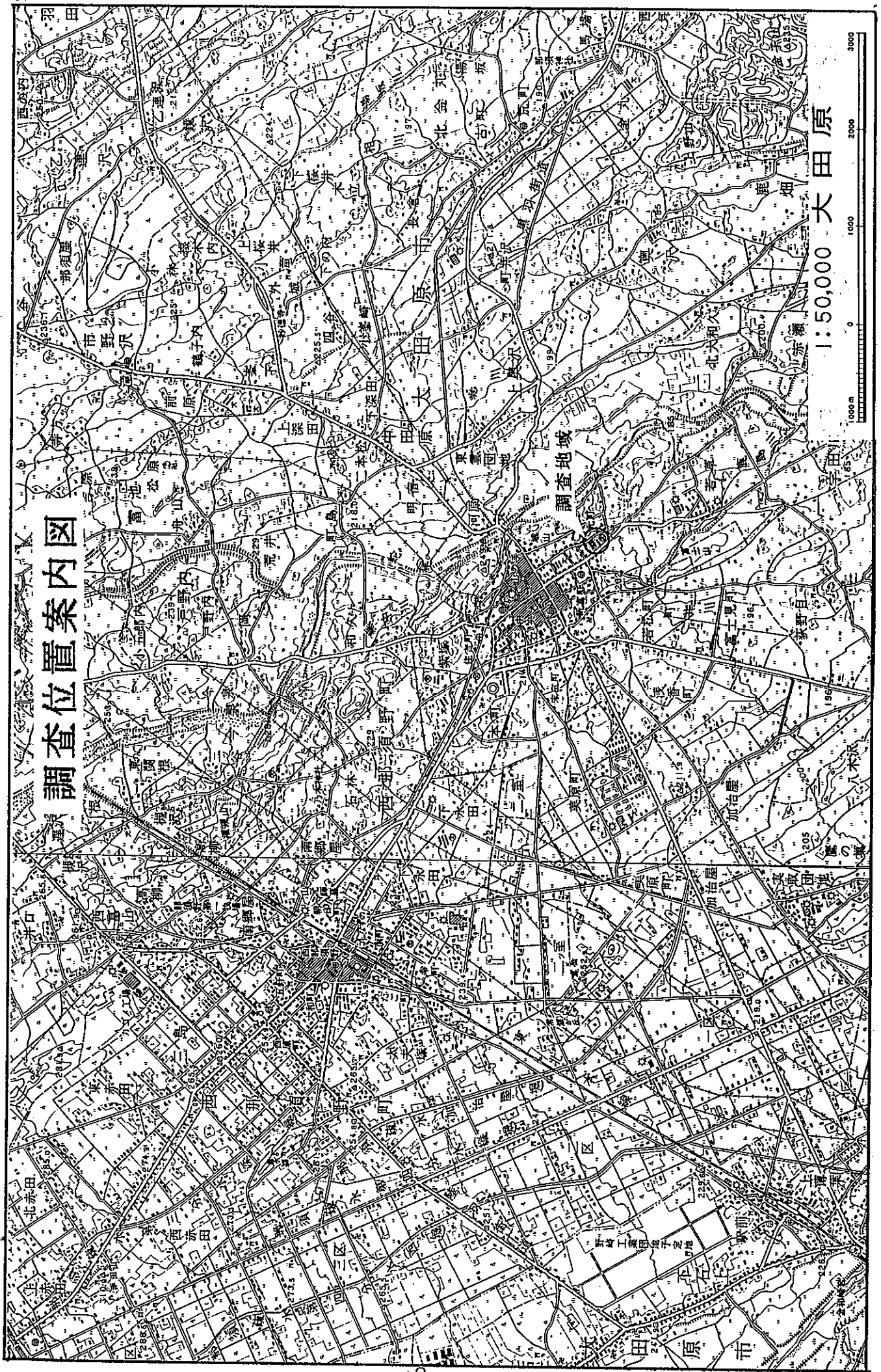
地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

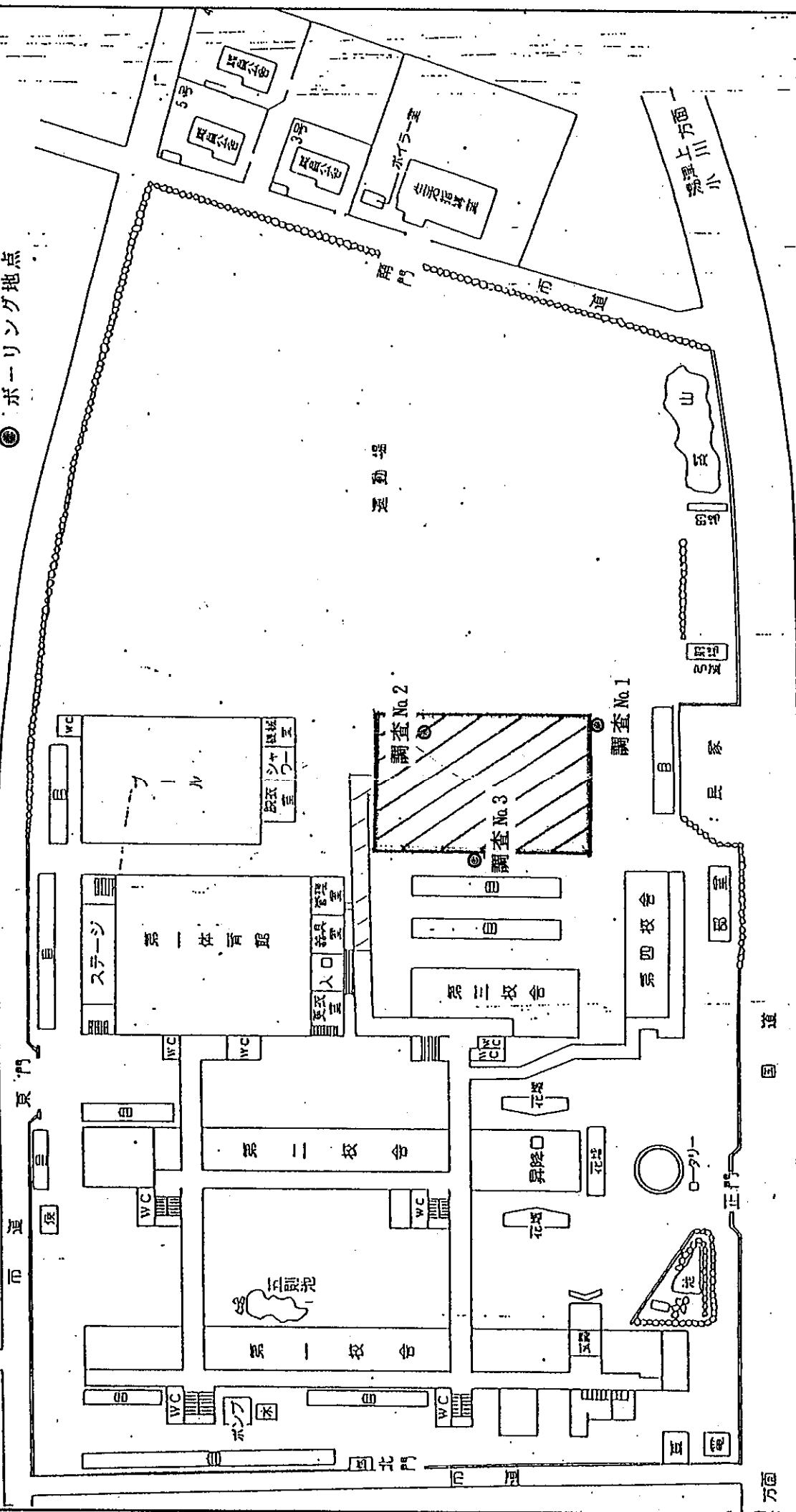
栃木県土木部建築課

調査位置案内図



栃木県立大田原女子高等学校配置図 縮尺約1/1000

● ボーリング地点



第 1 図 土質柱状図

大田原女子高校体育館新築工事地質
調査業務委託

ボーリング方法 ローター式

調査位置 大田原市元町1-5-43

地点番号 No. NO.1

標高 KBM-0.428 m

調査年月日 年 月 日

孔内水位 GL-3.60 m 担当者名

備考

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色調	記事	標準貫入試験		
									深度 (m)	N 値 回	10cm毎の打撃回数 c m/c m
	-0.93	0.50	0.50	⊗		盛土	暗灰色	玉石混じり砂礫の盛土			
1	-1.43	1.00	0.50	△		有機質火山灰土	黒褐色	砂混る			
2	-2.13	1.70	0.70	○		砂	黄褐色	礫径40mm主体、最大径100mm程度混入崩壊あり	1.15 24 6 9 9 1.45 30 10 10 10 2.15 10 3 3 4 2.45 30 10 10 10	10 20 30 40 50	
3	-2.93	2.50	0.80	○		礫混じり細砂	茶灰色	礫径20~40mm程度主体、所々通水跡みられる	3.15 50 20 30 3.33 18 10 8		
4				○					4.15 50 13 15 22 4.38 23 10 10 3		
5	-5.73	5.30	2.80	○		砂	茶灰色	3.50m付近から礫径40~50mm程度多い、間隙あり 4.60m付近から粘土含ま所々径100~200mm玉石点在する 5.00mから濃赤褐色を呈し径10~30mm程度の礫主体含水あり	5.15 23 14 8 1 5.45 30 10 10 10 6.15 22 8 7 7 6.45 30 10 10 10 7.15 36 8 12 16 7.45 30 10 10 10		
6				△				全体的に粘土分混入する	8.15 31 10 10 11 8.45 30 10 10 10		
7				△				5.50m付近まで多い	9.15 34 10 11 13 9.45 30 10 10 10		
8				△				10.00mから粘土分含ま多くなり、径10mm程度の礫混る	10.15 11 3 2 6 10.45 30 10 10 10		
9				△							
10				△							
11	-10.88	10.45	5.15	△		火山灰質砂	茶灰~暗褐色				

柱状 - B A S E

第 2 図 土質柱状図

調査名 大田原女子高校体育館新築工事地質調査業務委託
ボーリング方法 ロータリ式

調査位置 大田原市元町1-5-43
地点番号 No. NO.2 標高 KBM-0.320 m 調査年月日 年 月 日
孔内水位 GL-3.50 m 担当者名

備考

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色調	記 事	標準貫入試験											
									深度 (m)	N 値 回	10cm毎の打撃回数									
1																				
2	-2.32	2.00	2.00			表土	黒褐色	有機質火山灰土 1.00m付近からシルト 質で褐色	1.15	2	1									
3								礫径50~60mm主体 最大120mm程度の玉 石混入する 2.70m付近通水跡ある	1.45	30	20	10	19	18						
4									2.15	47	10	10	10	10						
5									2.45	30	10	10	10	10						
6	-5.92	5.60	3.60			砂	青褐色		3.15	50	15	22	13							
7	-6.77	6.45	0.85			火山灰質砂	茶灰色	粘土混入多い、含水高	3.42	27	10	10	7							
									4.15	50	13	15	22							
									4.45	30	10	10	10							
									5.15	50	24	26								
									5.35	20	10	10								
									6.15	10	3	3	4							
									6.45	30	10	10	10							

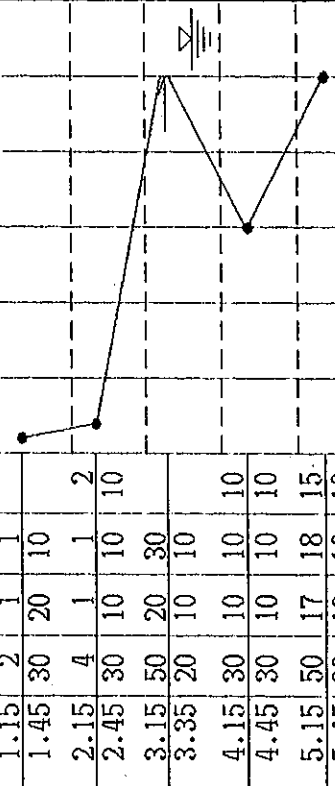
柱状 - B A S E

第 3 図 土質柱状図

調査名 大田原女子高等学校体育館新築工事地質調査業務委託
 調査位置 大田原市元町1-5-43
 地点番号 No. 3 標高 KBM+0.012 m 調査年月日 年 月 日
 ボーリング方法 ロータリ式

備考

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色調	記事	標準貫入試験			
									深度 (m)	N 値	打撃回数	(N 値)
1	-0.39	0.40	0.40	X		盛土	暗灰色	舗装、砕石の埋土材	1.15	2	1	1
2	-1.84	2.85	1.45	^ ^ ^		有機火山灰土	暗褐色	含水小位、粘性小位	1.45	30	20	10
3	-2.49	2.50	0.50	XXXX		一口細砂	茶灰色	含水小位、砂質早す	2.15	4	1	2
									2.45	30	10	10
4								径20~50mm程度の礫主体	3.15	50	20	30
									3.35	20	10	10
5	-5.44	5.45	2.95	OOO		砂礫	青褐色	最大径100mm程度混入あり	4.15	30	10	10
									4.45	30	10	10
6								3.80付近濃茶褐色呈す	5.15	50	17	18
									5.45	30	10	10



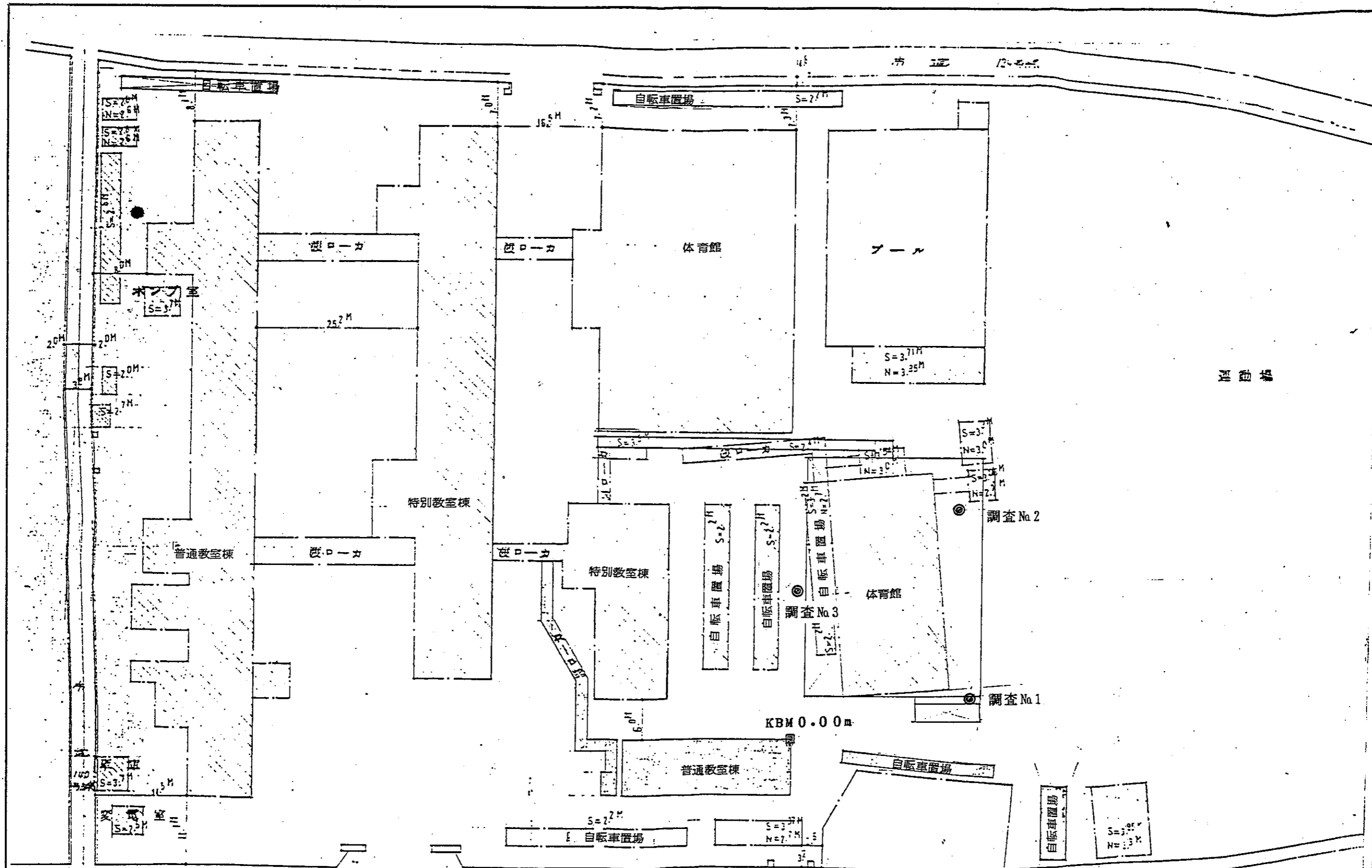


図 400号第1

● 調査位置

地質調査位置図 S=1:600